

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 6 月 11 日 (月) No.14
発行人

きれいなピンクのアジサイをもらった。超うれしーの川崎先生＼(^o^)/

◇日々これよき日なり◇

●いつもヘビイチゴをくれる平岡 3 人娘たち。今日くれたのは、“コセンダングサ”。別名“ひつつき虫”あるいは“バカの実”または“ばか”。川崎めがけて投げつけてくれてありがとさん。

●ある 2 年生の男の子。「あのね、上の方でね、水筒が転がっちゃったの」。「えーっ！それは大変。ちゃんと拾えた？」「うん、大丈夫」・・・今日の報告でした。

●3 年生と校外学習。隧道の下をくぐるときに、必ず“ヤッホー”と声を出して響きを楽しんでいる。思わず微笑んでしまう。

●同じく 3 年生の校外学習。中野の棚田にイモリがたくさん泳いでいる。それをみた女の子たち。“キャーッ！！かわいいー！！”。(@_@) イモリをかわいいと言えるのは西小だからかも。

●放課後「校長先生いますか？」「どうしたの？」「一緒に竹馬してください」「はーい」。と言う訳で外に出ると、竹馬や一輪車を練習している子どもたちがたくさんいる。えっ？この間まで竹馬で 3～4 歩しか歩けなかった女の子が、もう普通に乘って歩いている。いやいや、子どもの成長の速さって半端ない（聞くところによると、この子は家で夜も練習していたらしい）。それなら自分は一輪車だ！！と練習してみるも、ダメダメ。1mも進めない。その脇を、すいすいと乗っていく女の子たち。くっそ～、おじさんだって真剣になるとすごいんだぞ。（と、思わせたいが、上手くなる気がしない(T_T)）

●最近玄関付近の掃除当番の 6 年生が、掃除を終えて帰ってくる川崎に「ありがとうございます」と声をかけてくれる。この一言が心に沁みる。

●赤とピンクのポピーとシロツメクサとヒメジョオンと。登校途中に摘んでくれた見事なコントラストの花束をもらう。同時にたくさんのヘビイチゴと名前がわからない赤い実も。手がいっぱいになると同時に心もいっぱいになる。人は環境に影響されるというけど、こんな子どもたちに囲まれていると、きっと川崎も浄化されると思う。多分。

●校長先生！！と、手招きされていってみると、門扉の隅にたくさんのダンゴ虫が・・・。「うわぁ、かわいい！きもい！」。と言いながら虫を撫でる子どもたち。イモリといいダンゴ虫といい、かわいい！！という姿が西小らしくて妙に愛おしい。（でも、ダンゴ虫を川崎のシャツにつけるのはやめて～(T_T)）

●1 年生教室のおかいこさんが大きく成長している。それを観察したスケッチが教室に貼ってある。ある男の子のスケッチに「まるで特急みたい」とあった。そうだよな、まさにその通り。“新幹線ひかり号”なんて、きっとおかいこさんをモデルにしたんじゃないだろうか？とってしまう川崎です。

●1 日の金曜日は 3 年生田植えの日。大勢の保護者の皆様の手伝いもあって、スムーズに完了。植えてるうちに、どんどん上達して速くなる。いいぞ、その調子で家でも手伝うんだよ。田植えが終わって側溝で足を洗う。もうそこでは水遊びで大はしゃぎ。どんな場所でも遊べる子どもたちって、ある意味すごい才能かも。